

令和2年度第1回伊勢地区地域審議会会議概要

- 1 開催日時 令和2年12月9日(水)午後7時00時～午後8時15分
- 2 開催場所 伊勢市役所 本館3階委員会室
- 3 議事内容 (1) 正副会長の選出
(2) 活動内容について
(3) これまでの主要な施策及び現在の取組等について
(4) 提言について
- 4 出席委員 中村基記委員、櫻井治男委員、下野功純委員、村田典子委員、山中一孝委員、川端利生委員、杉田英男委員、西城宏樹委員、北村和也委員、馬瀬清美委員、竜田和代委員、奥野三智子委員、浦田宗昭委員、岡田祥子委員
- 5 欠席委員 前島賢委員
- 6 出席職員 情報戦略局長、情報戦略局次長、企画調整課長、同課係長、同課主事、環境生活部参事

7 議事概要

(1) 正副会長の選出

会長及び副会長の選出について、会長に櫻井治男委員、副会長に浦田宗昭委員とする事務局案に対して異議なしの声多数。会長に櫻井治男委員、副会長に浦田宗昭委員を選出。

(2) 活動内容について

今年度の活動として、今後のまちづくり・市政運営への意見、要望を提言としてまとめ、市長へ提出する旨を事務局から提案

→提言書を提出することを決定。

(3) これまでの主要な施策及び現在の取組等について

ア 市町村合併後の主な取組について

イ 第3次伊勢市総合計画・前期基本計画

ウ 第2次伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略

上記3件について、配布資料に基づき、環境生活部参事から説明

(4) 提言について

(3)の説明を踏まえ、今後の市政運営に対してのご意見を伺う。

【質問・意見】

- ・空家バンク制度について、市内の空家の状況は。
→利活用可能な空家については、空家バンクへの登録をしているが、マッチング等難しい状況にある。また、特に危険な建物については、特定空家として認定を行い除却する等の対応を行っている。
- ・空家の制度について、リモートワークの導入により、地方に第2の家を持つ動きもある。そういったことも踏まえて戦略的に進めているか。
→リノベーションに対する補助制度や移住体感プログラム等の移住を促進する事業も行

っている。

- ・空家が増えている一因としては高齢化が考えられる。第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載されているように若い世代を流出させないための施策が必要だと考えるが、何か具体的に取り組んでいる事業はあるか。
→「伊勢が好き」という気持ちを醸成するため、市内在住小学生が観光客をおもてなしする「伊勢っ子育て事業」等に取り組んでいる。
- ・新型コロナウイルス感染症によりイベント等を開催することが出来ない中、地域等での人と人とのつながりが希薄になっていくのではと危惧している。アフターコロナにおけるつながりの醸成に力を入れていく必要があるのでは。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で失業した派遣社員もいる。また、今は雇用調整助成金のおかげで働き続けられているものの、制度終了により失業者が増えるのではないかと危惧している。国の施策だけでなく、市として伊勢の若者が働き続けられる住みやすい環境をつくる施策が必要では。
- ・市における全ての計画は新型コロナウイルス感染症という前提を踏まえず作られており、点検・修正が必要では。産業においても、急速なデジタル化により産業構造や就労のあり方も大きく変わっており、そういったことを踏まえてもう一度議論しなおす必要があるのでは。
→市における様々な計画においては、どういった手段を講じていくのがいいのか、目指すべき方向を見定め、常に検証しながら進めていきたい。
- ・公共施設等総合管理計画の推進においては市民の意見を吸収し、進めていただきたい。

12/23（水）まで委員からの追加意見を募集し、事務局において意見・提案を整理したのち委員の確認を経て提言としてまとめることとした。

以上